

イネ科通信 11

ヨシ属

セイタカヨシ

水辺に生える大型の多年草。高さ2～4m。葉は茎と鋭角をなして斜上し、上端も下垂しません。今回の矢倉緑地観察会(10月5日)の淀川において聳えているのを見かけました。以上の特徴から離れたところからでも見間違えることはありません。その他、ヨシやツルヨシも生えていました。



セイタカヨシは関東以西～九州の川岸や海岸に生えます。根茎は長く横に伸びる。葉は長さ40～70cm、幅2～4cm。葉鞘口部の葉耳は出ず、葉舌は微毛列。稈は越年し、節からよく分枝します。花期は8～10月。似たものにヨシ、ツルヨシがあります。

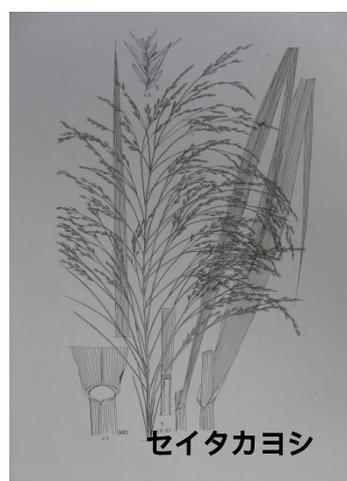
ヨシ属 (ヨシ、ツルヨシ、セイタカヨシ)

ヨシ、セイタカヨシとツルヨシを比較してみます(日本イネ科図譜・平凡社・長田武正著より引用)。

ヨシ.....小穂は長さ12-17mm、包穎は長さ3-4mmおよび5-8mmで先は鋭い。葉舌は高さ1.5mmに達し、背面有毛。

セイタカヨシ.....小穂は長さ5-8mm、包穎は長さ3mmおよび4mmで先は鈍い。葉舌は高さ0.5mm以下で微小な毛の列となる。

ツルヨシ.....地表に長いほふく枝を伸ばし、その節に密毛がある。葉身の基部は耳状に突き出さず、第1包穎は長さが最下護穎の1/2～3/5、葉鞘の上部は赤紫色に染まることが多い。



上記の3種を同定するには左のスケッチを見れば一目瞭然でしょう。(写真では区別しにくい)よくご覧ください。なお、観察には成熟しているものを選んでください。